

スペシャル リハーサル エディション スクリプト

# ハリー・ポッターと 呪いの子

第一部・第二部



3人の著者による新作オリジナル・ストーリー

**J.K.ローリング**

ジョン・ティファニー & ジャック・ソーン

舞台脚本 ジャック・ソーン

翻訳 松岡佑子

静山社

# ハリー・ポッターと 呪いの子

第一部・第二部



3人の著者による新作オリジナル・ストーリー

**J.K.ローリング**  
ジョン・ティファニー & ジャック・ソーン  
舞台脚本 ジャック・ソーン

---

初演制作

ソニア・フリードマン・プロダクション  
コリン・カレンダー  
ハリー・ポッター・シアトリカル・プロダクション

---

特別リハーサル版

オリジナル・ウエストエンド・プロダクション

---

翻訳 松岡佑子



ハリー・ポッターと  
呪いの子

---

第一部・第二部

静山社

『ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部』は、  
その全部又は一部の上演を禁じ、  
作品の権利者、J.K. ローリング、また、  
ハリー・ポッター・シアトリカル・プロダクションの許可なく利用することを禁じます。

お問い合わせは [enquiries@hptheatricalproductions.com](mailto:enquiries@hptheatricalproductions.com) よりお送りください。

Original Title

Harry Potter and the Cursed Child, Parts One and Two - (Special Rehearsal Edition Script)

First published in print in Great Britain in 2016 by Little, Brown

Text © Harry Potter Theatrical Productions Limited 2016

Harry Potter Publishing and Theatrical rights © J.K.Rowling

Artwork and logo are trademarks of and © Harry Potter Theatrical Productions Limited

Harry Potter, characters, names and related indicia are trademarks of and

© Warner Bros.Ent.All rights reserved.

J.K.ROWLING'S WIZARDING WORLD is a trademark of

J.K.Rowling and Warner Bros. Entertainment Inc.

All characters and events in this publication, other than those clearly in the public domain,  
are fictitious and any resemblance to real persons, living or dead, is purely coincidental.

All rights reserved.

No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system,  
or transmitted, in any form, or by any means, without the prior permission in writing of the publisher,  
nor be otherwise circulated in any form of binding or cover other than that in which it is published and  
without a similar condition including this condition being imposed on the subsequent purchaser.

目次

---

第一部

---

第一幕 7

第二幕 119

---

第二部

---

第三幕 217

第四幕 321

配役 408

クリエイティブ・プロダクションチーム 410

原作チームの略歴 412

謝辞 414

## **J.K. ローリング**

わたしの世界に入り、  
すばらしいものを作ってくれたジャック・ソーンへ。



## **ジョン・ティファニー**

ジョー、ルイス、マックス、サニー、マールへ……  
全員が魔法使いだ……。



## **ジャック・ソーン**

2016年4月7日に生まれたエリオット・ソーンへ。  
我々はリハーサルに、  
息子は嬉しそうに声をあげるのに忙しかった。

---

---

# 第一部

---

---









第一部

第一幕

## 第二幕 第一場 キングズ・クロス駅

人々がそれぞれの目的地を目指して慌ただしく行きかう駅。雑踏の中、荷物を山のように積んだカートが二台、それぞれに大きな鳥かごを載せてガラガラと進んでいく。カートを押しているのは二人の少年、ジェームズ・ポッターとアルバス・ポッターだ。母親のジニーが息子たちの後を追うように歩いている。37歳になったハリーは、娘のリリーを肩車している。

アルバス　パパ、こいつ、何度も同じことを言うんだ。

ハリー　ジェームズ、いい加減にしなさい。

ジェームズ　こいつがスリザリンに行くかもしれないって言っただけさ。だつてさ、もしかしたら……。〈父親のこわい顔を見て、すぐに〉わかつたよ。

アルバス　〈母親を見上げながら〉手紙をくれるよね？

ジニー　お望みなら毎日でも。

アルバス　だめだよ、毎日じゃないよ。ジェームズが、みんなだいたい一か月に一度だけ来るって言うんだ。だから僕も……。

ハリー　ジェームズには去年、週に三回出したよ。

アルバス　えっ！ ジェームズ！

ジェームズをなじるようににらむ。

ジニー　ほんとうよ。ジェームズがホグワーツのことを言っても、全部信じちゃだめ。お

兄ちゃんは冗談じょうだんが好きなんだから。

ジェームズ　（にっと笑って）ねえ、もう行つてもいいだろ？

アルバスはまず父親を見て、それから母親を見る。

ジニー　9番線と10番線のあいだの壁かべに向かつて、まっすぐ歩いていけばいいのよ。

リリー　わくわくするわ。

ハリー　止まるんじゃないよ。壁かべにぶつかるなんて怖こわがらないこと。それが大事なんだ。

気になるなら走るといい。

アルバス　うん、もう行けるよ。

ハリーとリリーはアルバスのカートに、ジニーはジェームズのカートに手を添そえる——そして一いっ緒しよに、壁かべに向かつて勢いきほいよく走っていく。

第一幕 第二場 9と3／4番線

ホグワーツ急行の吐き出す白い蒸気がもうもうと立ちこめるプラットホーム。

このホームも騒がしい——しかしここにひしめいているのは、かつちりしたスーツ姿で仕事に向かう人々ではなく、かわいい子どもたちをどんな言葉で送り出そうかと思案している、ローブ姿の魔法使いや魔女たちだ。

アルバス            ここだ。

リリー                すごい！

アルバス            9と4分の3番線だ。

リリー                みんなはどこ？ 来てるの？ 来なかったんじゃないの？

ハリーが指さした先に、ロンとハーマイオニーと娘のローズがいる。リリーは勢いよく三人に駆けよっていく。

リリー                ロンおじさん、ロンおじさん!!!

ロンがハリーたちを振り返り、リリーはロンに駆けよる。ロンがリリーを抱きあげる。

ロン　　おーや、僕のかわいいポッター嬢ちゃん。

リリー　あたしの手持つてきてくれた？

ロン　　ウィーズリー・ウィザード・ウィーズ悪戯専門店の太鼓判商品、「鼻どろぼうの虫の息」をご存知か？

ローズ　ママ！　パパったら、またへぼ手品やつてる。

ハーマイオニー　あなたはへぼと言うし、パパはすばらしいと言うし、私は……その中間。

ロン　　ちよつと待った。この空気を食つて……。さあおたちあいだ……。ちよつとニンニク臭かつたらごめんよ……。

ロンはリリーの顔に息を吹きかける。リリーがくすくす笑う。

リリー　オートミールの匂いがする。

ロン　　ビン、パン、ボン。さあお嬢さん、なんの匂いも嗅げなくなるぞ……

ロンがリリーの鼻をもぎ取るしぐさをする。

リリー あたしの鼻はどこ？

ロン ジャーン！

開いてみせたロンの中は空っぽだ。へぼ手品だ。みんながそのばかばかしさを楽しんでいる。

リリー おじさんたら、バカみたい。

アルバス また、みんながじろじろ見てる。

ロン 僕のせいさ！ 僕はとても有名なんだ。「鼻」実験は伝説になってる！

ハーマイオニー そうでしょうとも。

ハリー それじゃ、ちゃんと駐車でできたのか？

ロン ああ。ハーマイオニーは、僕がマグルの運転免許試験に受かると思ってた。た。だろう？ 試験官に錯乱呪文をかけなきゃならぬだろうって思ってた。だ。

ハーマイオニー そんなこと思わないわ。あなたを絶対に信用しているもの。

ロース わたしは絶対に、試験官を錯乱させたと思うわ。

ロン オイ！

アルバス パパ……

アルバスが父親のローブを引っばる。ハリーが息子を見下ろす。

あのね——もしも僕が——もしもスリザリンに入れられたら……。

ハリー  
そうなたら悪いかい？

アルバス  
スリザリンは蛇の寮だ。闇の魔術の……勇敢な魔法使いの寮じゃない。

ハリー  
アルバス・セブルス、おまえは Hogwatts の二人の校長先生の名前をもらった。

一人はスリザリン出身だが、父さんが知っている中で、おそらく一番勇敢な人だった。

アルバス  
でも、もし……

ハリー  
それがおまえ自身にとって気になることなら、組分け帽子はおまえの気持ちを汲

んでくれる。

アルバス  
ほんと？

私にはそうしてくれた。

ハリーが誰かにこの話をするのは初めてだ——自分の言葉が一瞬、頭の中で響く。

アルバス、Hogwatts は、おまえを立派に育ててくれるところだ。パパが請け合う。怖がるようなことはなんにもない。



ジェームズ　セストラル以外はね。いいか、セストラルに気を付けろよ。

アルバス　セストラルって、見えないんだろ！

ハリー　先生たちの言うことを聞くんだよ。ジェームズの言うことは聞くな。楽しく過すごしなさい。さあ、汽車に置いてけぼりをくわされなくなかったら、早く乗のって……。

リリー　あたし、汽車を追いかけるわ。

ジニー　リリー、戻もどりなさい。

ハーマイオニー　ローズ、ネビルに私たちからのキスを送ってね。

ローズ　ママ、先生にキスなんてできないわ！

ローズは列車に向かって歩きはじめる。アルバスはローズに続く前に振り返かえり、最後にもう一度ジニーとハリーを抱だきしめる。

アルバス　オーケー、じゃ、さよなら。

アルバスは列車に乗りこむ。ハーマイオニー、ジニー、ロン、ハリーは、プラットフォームで列車を見守まもる——警笛けいてきの音が数声、プラットホーム中に響ひびく。

ジニー　あの子たち、大丈夫よね？

ハーマイオニー　ホグワーツは大きなところよ。

ロン　大きくて、すてきだ。食べ物がいっぱい。戻れるものなら、僕はなんにも惜しくない。

ハリー　アルはスリザリンに入れられるのを心配していた。変だな。

ハーマイオニー　そんなことなんでもないわ。ローズなんか、クイディッチの得点記録を1年生で打ちたてられるか、2年生の時かって気にしていたし、5年生用のテストをどうやったらもつと早く受けられるか、ですって。

ロン　いったい誰に似たのやら。

ジニー　でもハリー、もしアルが——もしもそうなら？

ロン　ジン、あのさ、僕たち、君がスリザリンに入るかもしれないって、ずっとそう思ってたんだぞ。

ジニー　ええっ？

ロン　ほんとうさ。フレッドとジョージがそれで賭博をした。

ハーマイオニー　帰りましょうか？　ほら、みんなが見てるわ。

ジニー　あなたたち三人が一緒にいると、みんなが必ず見るし、一緒にじゃないときでも、ハリー、あなたを見ているわ。

四人はプラットホームを離れる。ジニーがハリーを引き止める。

ハリー

ハリー……あの子、大丈夫よね？

ああ、大丈夫だとも。

1

## 第一幕 第三場 ホグワーツ特急

アルバスとローズは、車両の通路を通り抜けていく。  
車内販売の魔女が、台車を押しながら近づいてくる。

車内販売魔女

何か要りませんか？ かぼちやパイ？ 蛙チョコレート？ 大鍋ケーキはいか  
が？

ローズ  
(蛙チョコレートを見るアルバスの物欲しげな視線に気付いて) アル、気持ちを集中させな  
きや。

アルバス

ローズ  
どうして？  
誰と友だちになるかを決めるのよ。わたしのママとパパが、あなたのパパに初め

て会ったのは、ホグワーツ特急だったんだから……

アルバス

じゃ、今、生涯の友だちを選ぶの？ それって、すごく怖いよ。  
とんでもない。ワクワクするわ。わたしはグレンジャー・ウィーズリーだし、あ

アルバス

なたはポッター——みんなが友だちになりたがるわよ。よりどりみどりじゃない  
じゃ、どうやって決めるの？——客室のどのコンパートメントに座るか……

ローズ

全員を評価して、それで決めるの。

アルバスが近くのコンパートメントの扉を開ける——中をのぞくと、さびしげなブロンドの少年——スコープピウス——がぼつんと座っている。アルバスはにこっと笑う。スコープピウスも笑みを返す。

アルバス　やあ、この席……

スコープピウス　空いてるよ。僕一人だ。

アルバス　よかった。じゃ、僕たち——ちよつとのあいだけ——座っても——いいかな？

スコープピウス　いいよ。やあ。

アルバス　アルバス、アルだ。僕——僕の名前はアルバス……

スコープピウス　やあ、スコープピウス。じゃなくて、僕はスコープピウスだ。君はアルバスで、僕はスコープピウス。で、君はたしか……

ローズの表情がみるみるこわばってくる。

ローズ　ローズよ。

スコープピウス　やあ、ローズ。ファイファイ・フィズビー食べるかい？

ローズ　結構よ。朝食を食べたばかり。

『ハリー・ポッターと呪いの子』第一部・第二部は、ソニア・フリードマン・プロダクション、コリン・カレンダー、ハリー・ポッター・シアトリカル・プロダクションの製作。2016年7月30日、ロンドンのパレス・シアターで初演された。配役は以下の通り。

(配役のアルファベット順)

- クレイグ・パウカーJR……………ジェレミー・アング・ジョーンズ
- 嘆きのマートル、リリー・ポッターSR(ハリーの母)……………アナベル・ポールドウイン
- パーノンおじさん、セブルス・スネイプ、ヴォルデモート卿……………ポール・ペントル
- スコーピウス・マルフォイ……………アントニー・ポイル
- アルバス・ポッター……………サム・クレメット
- ハーマイオニー・グレンジャー……………ノーマ・ドゥメジエニー
- ポリー・チャップマン……………クローディア・グラント
- ハグリッド、組分け帽子……………クリス・ジャーマン
- ヤン・フレドリックス……………ジェームズ・ル・ラシユール
- ベチュニアおばさん、マダム・フーチ、ドローレス・アンブリッジ……………ヘレナ・リンベリー
- エイモス・デイゴリー、アルバス・ダンブルドア……………パリー・マッカーシー
- 車内販売魔女、マクゴナガル校長……………サンディー・マクデイド
- 駅長……………アダム・マクナマラー
- ジニー・ポッター……………ポピー・ミラー
- セドリック・ディゴリー、ジェームズ・ポッターJR(ハリーの長男)、ジェームズ・ポッターSR(ハリーの父)……………トム・ミリガン
- ダドリー・ダーズリー、カール・ジェンキンス、ピクトール・クラム……………ジャック・ノース
- ハリー・ポッター……………ジェイミー・パーカー

- ドラコ・マルフォイ……………アレックス・ブライス
- ベイン……………ヌーノ・シルヴァ
- ローズ・グレンジャー・ウィーズリー、学生時代のハーマイオニー……………シエレル・スキー
- デルフィー・ディゴリー……………エスター・スミス
- ロン・ウィーズリー……………ポール・ソーンリー
- 子ども時代のハリー・ポッター……………ルディ・グッドマン、アルフレッド・ジョーンズ、ピーリー・キオッフ、  
ユアン・ラザーフォード、ナサニエル・スミス、デイラン・スタンデン
- リリー・ポッターJR(ハリーの娘)……………ゾエブラフ、クリステイナ・フレイ、クリステイアナ・ハッチングズ

**その他の登場人物の俳優名**

- ニコラ・アレクシス、ジェレミー・アング・ジョーンズ、ローズマリー・アナベラ、アナベル・ポールドウイン、ジャック・ベネット、  
ポール・ベントル、モラグ・クロス、クローディア・グラント、ジェームズ・ハワード、ロウリ・ジェームズ、クリス・ジャーマン、  
マーティン・ジョーンストン、ジェームズ・ラシュェール、ヘレナ・リンベリー、バリー・マッカーシー、アンドルー・マクドナルド、  
アダム・マクナマラ、トム・ミリガン、ジャック・ノース、スチュアート・ラムゼイ、ヌーノ・シルヴァ、シエレル・スキー

**ダンス**

- ヘレン・アルコ、モラグ・クロス、チポ・クレイヤ、トム・マックリリー、ジョシユア・ワイアット
- ヌーノ・シルヴァ……………振付リーダー
- ジャック・ノース……………振付リーダー助手
- モラグ・クロス……………発声指導